

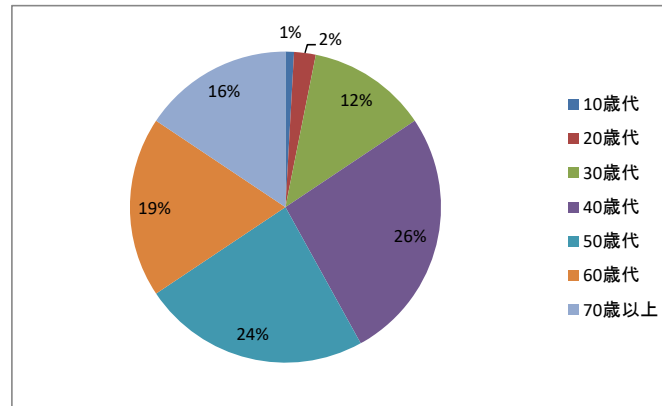
第12回 金沢の工芸についてのアンケート

【アンケート実施期間】 令和5年1月6日～令和5年1月20日

【アンケートの目的】 金沢の工芸に対する関心、使用状況等について、市民の意見等を聞き、今後の施策の参考とするため

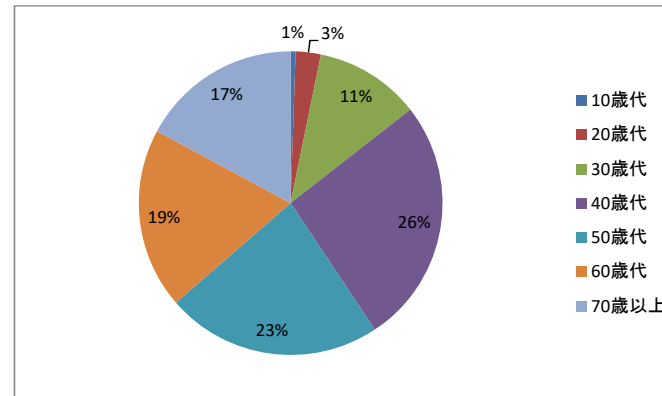
【対象者数】 224 名

内訳	人数	%
10歳代	2	0.9
20歳代	5	2.2
30歳代	28	12.5
40歳代	59	26.3
50歳代	53	23.7
60歳代	42	18.8
70歳以上	35	15.6
計	224	100.0



【回答者数】 187 名

内訳	人数	%
10歳代	1	0.5
20歳代	5	2.7
30歳代	21	11.2
40歳代	49	26.2
50歳代	43	23.0
60歳代	36	19.3
70歳以上	32	17.1
計	187	100.0

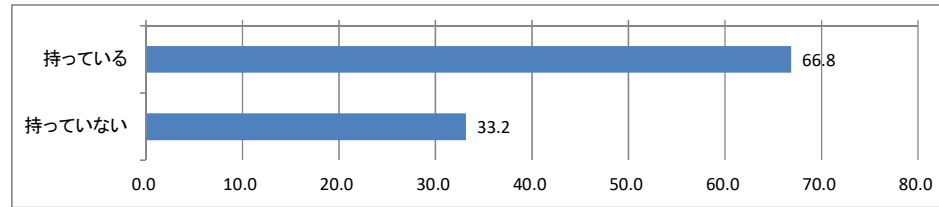


【回答率】 83.5%

問1 金沢の工芸品をお持ちですか

回答	人数	%
持っている	125	66.8
持っていない	62	33.2

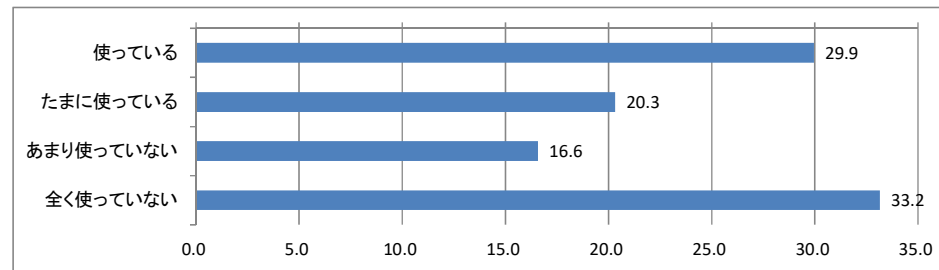
187



問2 日頃から金沢の工芸品を使っていますか

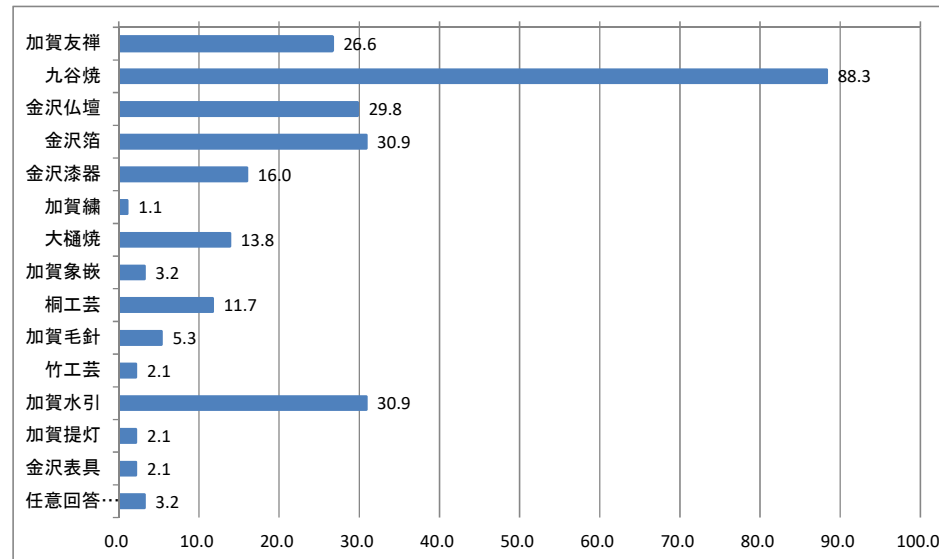
回答	人数	%
使っている	56	29.9
たまに使っている	38	20.3
あまり使っていない	31	16.6
全く使っていない	62	33.2

187



問3 (問2で「使っている」「たまに使っている」と答えた人) 日頃使っている金沢の工芸品はどれですか (複数選択可) n= 94

回答	人数	%
加賀友禅	25	26.6
九谷焼	83	88.3
金沢仏壇	28	29.8
金沢箔	29	30.9
金沢漆器	15	16.0
加賀繡	1	1.1
大樋焼	13	13.8
加賀象嵌	3	3.2
桐工芸	11	11.7
加賀毛針	5	5.3
竹工芸	2	2.1
加賀水引	29	30.9
加賀提灯	2	2.1
金沢表具	2	2.1
任意回答		
加賀手まり、加賀八幡起上り	3	3.2
金沢郷土玩具		

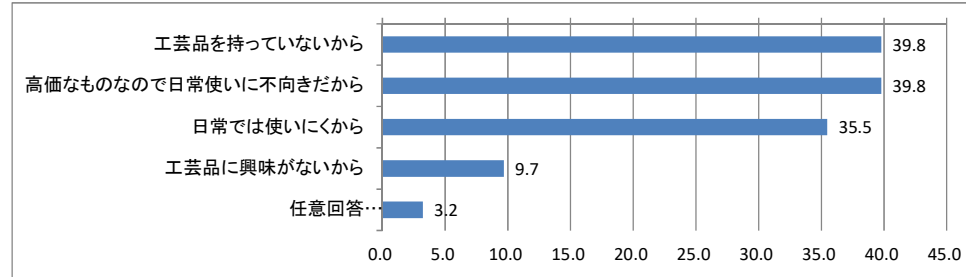


問4 (問2で「あまり使っていない」「全く使っていない」と答えた人) 金沢の工芸品を使わない理由は何ですか (複数選択可)

n=

93

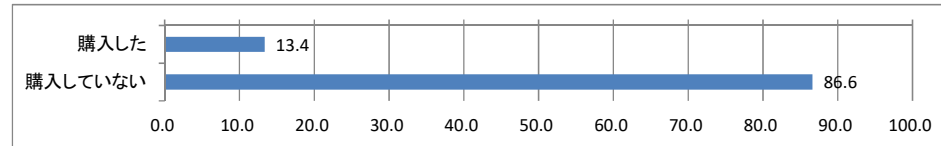
回答	人数	%
工芸品を持っていないから	37	39.8
高価なものなので日常使いに不向き	37	39.8
日常では使いにくから	33	35.5
工芸品に興味がないから	9	9.7
任意回答 ・なんとなく ・時々興味がないから ・子どもが壊したり汚す可能性もある のでしまっている	3	3.2



問5 この1年間に自分用に金沢の工芸品を購入しましたか

回答	人数	%
購入した	25	13.4
購入していない	162	86.6

187

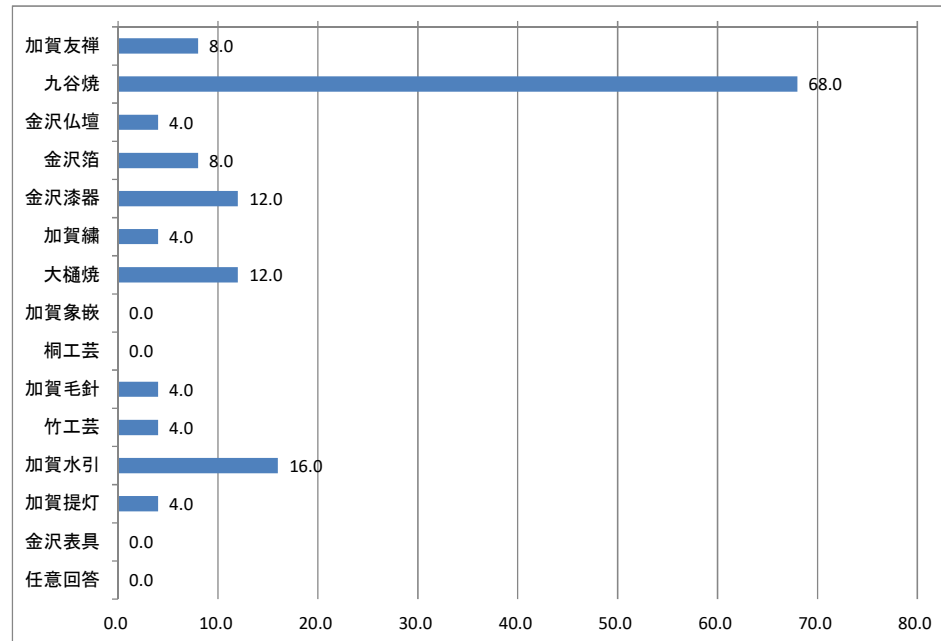


問6 (問5で「購入した」と答えた人) 購入した金沢の工芸品はどれですか (複数選択可)

n=

25

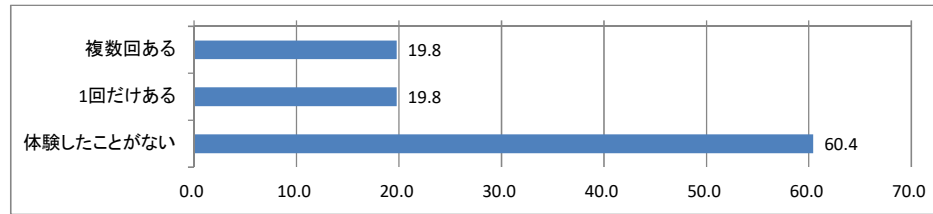
回答	人数	%
加賀友禅	2	8.0
九谷焼	17	68.0
金沢仏壇	1	4.0
金沢箔	2	8.0
金沢漆器	3	12.0
加賀繡	1	4.0
大樋焼	3	12.0
加賀象嵌	0	0.0
桐工芸	0	0.0
加賀毛針	1	4.0
竹工芸	1	4.0
加賀水引	4	16.0
加賀提灯	1	4.0
金沢表具	0	0.0
任意回答	0	0.0



問7 金沢の工芸品を制作する体験をしたことはありますか

回答	人数	%
複数回ある	37	19.8
1回だけある	37	19.8
体験したことがない	113	60.4

187

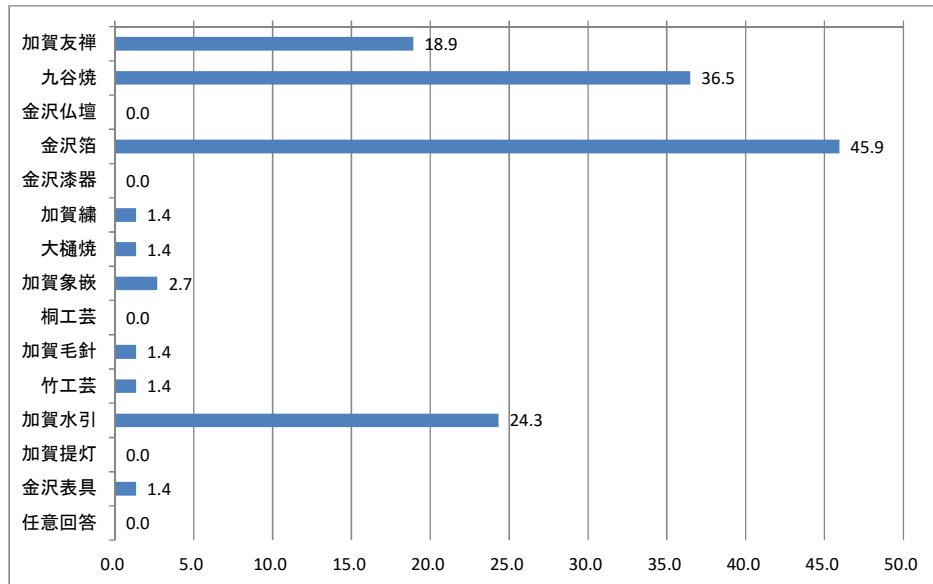


問8 (問7で「複数回ある」「1回だけある」と答えた人) どの分野の工芸体験をしましたか (複数選択可)

n=

74

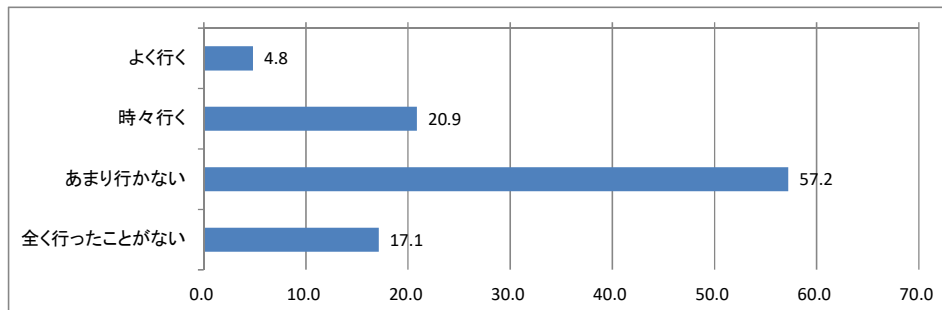
回答	人数	%
加賀友禅	14	18.9
九谷焼	27	36.5
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	34	45.9
金沢漆器	0	0.0
加賀繡	1	1.4
大樋焼	1	1.4
加賀象嵌	2	2.7
桐工芸	0	0.0
加賀毛針	1	1.4
竹工芸	1	1.4
加賀水引	18	24.3
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	1	1.4
任意回答	0	0.0



問9 ギャラリーなど工芸品を取り扱うお店に行くことはありますか

回答	人数	%
よく行く	9	4.8
時々行く	39	20.9
あまり行かない	107	57.2
全く行ったことがない	32	17.1

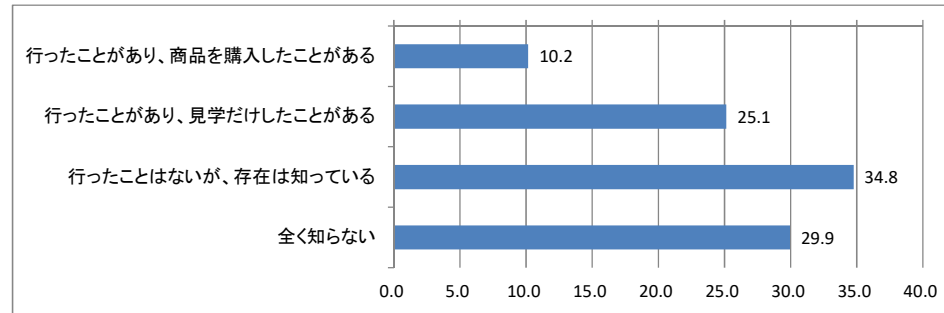
187



問10 金沢・クラフト広坂に行ったことはありますか

回答	人数	%
行ったことがあり、商品を購入したことがある	19	10.2
行ったことがあり、見学だけしたことがある	47	25.1
行ったことはないが、存在は知っている	65	34.8
全く知らない	56	29.9

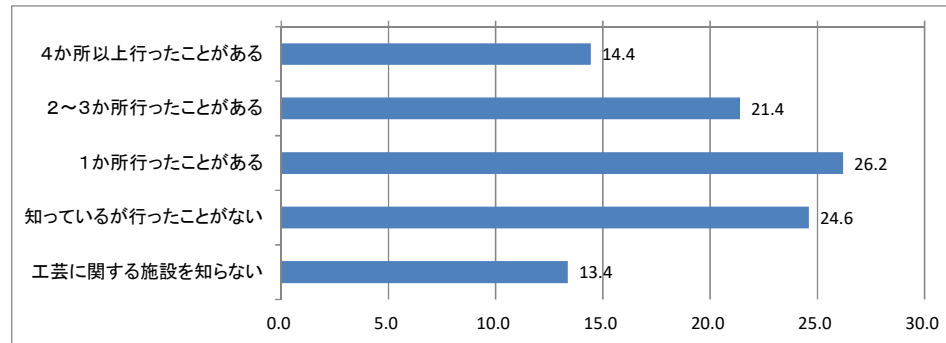
187



問11 工芸に関する施設（県立伝統産業工芸館、安江金箔工芸館、中村記念美術館、加賀友禅会館など）に行ったことはありますか

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	27	14.4
2～3か所行ったことがある	40	21.4
1か所行ったことがある	49	26.2
知っているが行ったことがない	46	24.6
工芸に関する施設を知らない	25	13.4

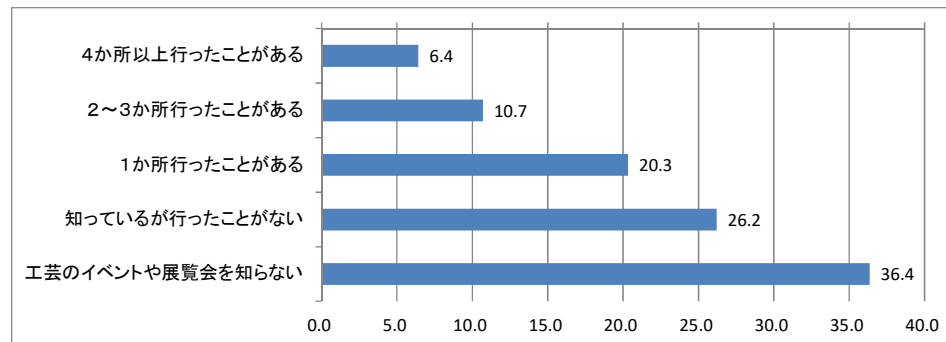
187



問12 金沢市内で開催されている工芸のイベントや展覧会（KOGEIフェスタ！、金沢21世紀工芸祭、KOGEI Art Fair Kanazawa、金沢市工芸展など）に行ったことはありますか

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	12	6.4
2～3か所行ったことがある	20	10.7
1か所行ったことがある	38	20.3
知っているが行ったことがない	49	26.2
工芸のイベントや展覧会を知らない	68	36.4

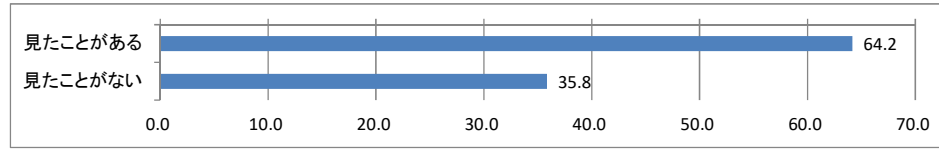
187



問13 金沢市内の飲食店等で金沢の工芸品が使われているところを見たことがありますか

回答	人数	%
見たことがある	120	64.2
見たことがない	67	35.8

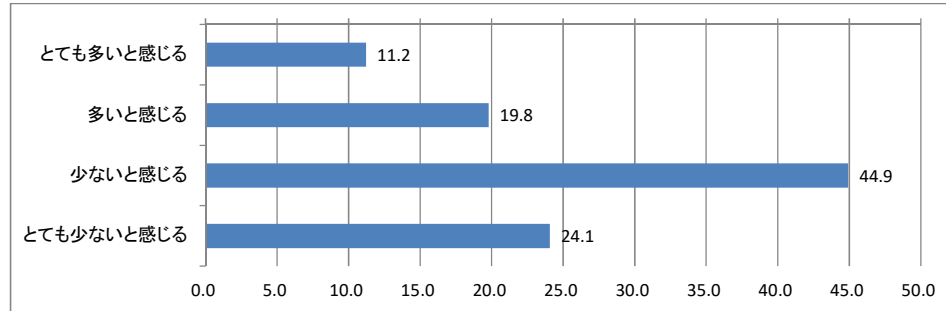
187



問14 子どもが工芸に触れる機会は多いと思いますか

回答	人数	%
とても多いと感じる	21	11.2
多いと感じる	37	19.8
少ないと感じる	84	44.9
とても少ないと感じる	45	24.1

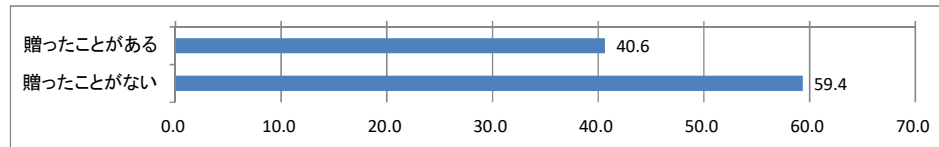
187



問15 家族や友人などのプレゼントとして工芸品を贈ったことがありますか

回答	人数	%
贈ったことがある	76	40.6
贈ったことがない	111	59.4

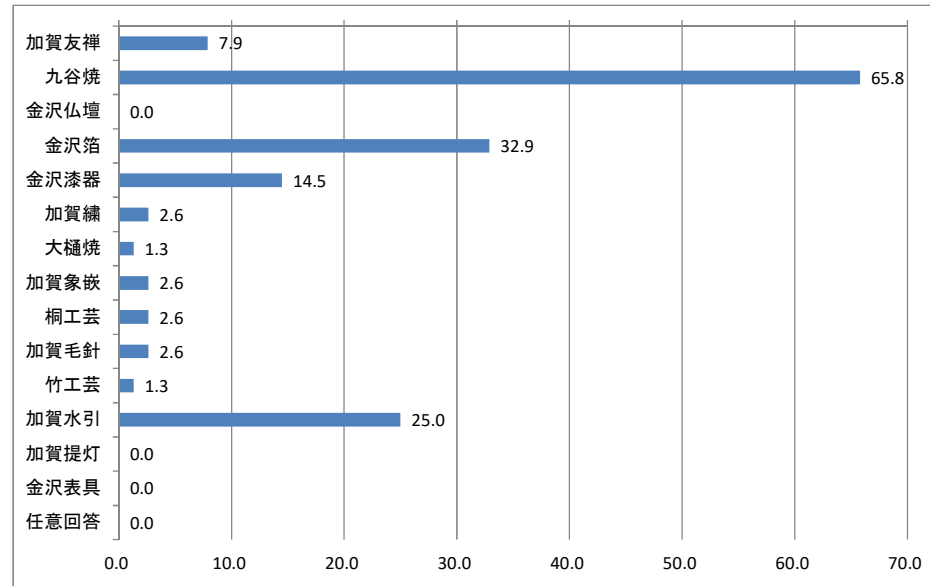
187



問16 (問15で「贈ったことがある」と答えた人) プレゼントした工芸品はどれですか (複数選択可) n=

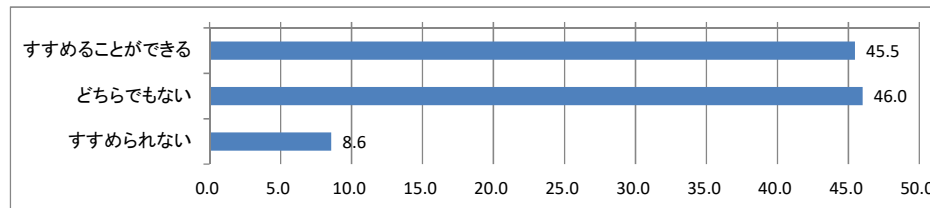
76

回答	人数	%
加賀友禅	6	7.9
九谷焼	50	65.8
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	25	32.9
金沢漆器	11	14.5
加賀繡	2	2.6
大樋焼	1	1.3
加賀象嵌	2	2.6
桐工芸	2	2.6
加賀毛針	2	2.6
竹工芸	1	1.3
加賀水引	19	25.0
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	0	0.0
任意回答	0	0.0



問17 市外の人に、金沢の工芸品の購入をすすめることはできますか

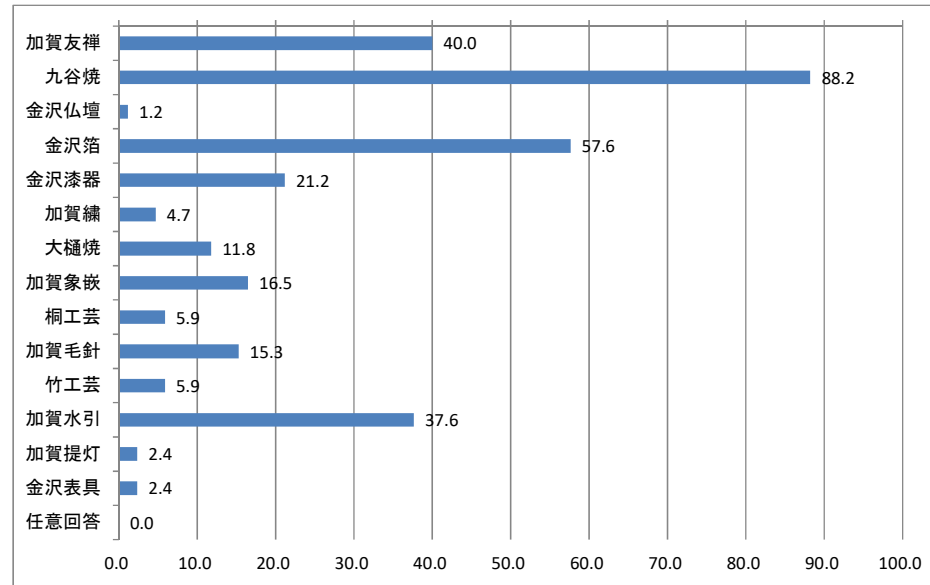
回答	人数	%
すすめることができる	85	45.5
どちらでもない	86	46.0
すすめられない	16	8.6



問18 (問17で「すすめることができる」と答えた人) 市外の人に購入をすすめたい工芸品はどれですか(複数選択可) n=

85

回答	人数	%
加賀友禅	34	40.0
九谷焼	75	88.2
金沢仏壇	1	1.2
金箔	49	57.6
金沢漆器	18	21.2
加賀繡	4	4.7
大樋焼	10	11.8
加賀象嵌	14	16.5
桐工芸	5	5.9
加賀毛針	13	15.3
竹工芸	5	5.9
加賀水引	32	37.6
加賀提灯	2	2.4
金沢表具	2	2.4
任意回答	0	0.0



問19 金沢の工芸について、ご意見等ありましたらご自由に記入してください

自分が金沢の工芸品の良さを認識していないため薦めることが出来ない(問17)
安価な物は子供向けやお土産向けにたくさん販売すればいいのでは？金沢マラソンのお土産にも。
普段使いのものが少ない
アンケートをして、自分が工芸についてなにも知らないことに気がきました。もっと知りたいです。
やはり敷居が高く感じる人が多い。現在も取り組んでいただいていると思いますが、小さい時から親しめるようにもう少し工夫が必要かと思えます。
水引、金箔は体験しやすく、特に金沢の子どもたちは学校のどこかの段階で必ず通過していると思います。子どもたちが各施設を経験することが多い一方、大人になると、あそこは観光地という感じで、イベントや接待でもないに行かなくなるように思います。
工芸品の多くが普段遣いのイメージでなく、特別な人が使う感じなので、有名なのは知っているけれど身近でないということが多いように思います。
後継者がどれだけいるか心配しています。
品質的に上質なのは理解できるが、価格的に高く簡単には手が出ない、のが難点。
高価なものとのイメージがあり、日常生活に縁がない
過去の工芸品にたよらず新たな品を創作できる機会を作ったらよいと思う
なるほど、加賀百万石文化があるのに、私は幼少からあまり工芸品に触れていないですね。もっぱら父親の影響でした。もっと学校での体験などが大切かと思えます。
日常に取り入れやすく、高価でなければ良いのですが、手間や技を考えれば高いのも当たり前。無理なく自分の身の丈に合う物がより良い物であると思っています。
日常的に使えるものにしなないと普及しません。手に入りやすい価格設定、若い人達が使いたくなるデザインを。
工芸品と言われる物のほとんどが消耗品ではなく、買い足すということがありません。広く庶民に浸透するよう形を変え提供することも必要かと思えます。
工芸品は素晴らしいものが多いが、どうしても価格が高くなりがちで日常使いには向いていないと思う。もう少し普及品にも力を入れて頂けると親しみやすいと思う。
九谷焼以外は知名度が低く地元だけが盛り上がっている状態だと思えます。金沢工芸の歴史、素晴らしいさを対外的に知らしめる努力が足りないと思えます。
工芸家も井の中の蛙状態のように感じます。全てを網羅するのではなく長期的展望を持って行政がリードする時期に来ていると思えます。
工芸品は高価のイメージだけど、もう少し普段使いの製品が安価であれば良いと思えます。



<p>以前に何度か卯辰山工芸工房で陶芸教室に参加してから陶芸には非常に興味を抱くようになりました。以前はこまめに開催されたり、試供品のサンプルを公募して、数か月後に使用した感想、印象を報告するようなイベントに参加して、更に九谷焼などの陶芸に興味を抱き、他県の窯元に出かけたり、購入していました。作るだけでなく、サンプルを提供して、その使用感を実感することが長く印象が残ると思われず。</p>
<p>素晴らしい伝統なので、もっと地元の人に還元できる機会があると良い。購入割引券を配布する等。</p>
<p>金沢には世界に誇れる美術品レベルの工芸品が数多くあると思います。たくさんの方に手に取っていただける機会をこれからも是非作っていただければと思います。</p>
<p>工芸がさかんなのはわかりますが、市民には浸透していないと思う。</p>
<p>工芸品に触れる機会をもっと多く提供して欲しい。中心部から離れると殆どありません。</p>
<p>金沢の工芸品は高級で使いにくいというイメージがどうしてもあります。取り扱い方などを知って、もっと身近に感じられると良いなと思います。</p>
<p>保育園などで親子で無料で体験する機会があれば良いと思います。</p>
<p>加賀友禅や九谷焼はとても素晴らしいですが、くらしのなかに取り込むことが難しいと感じます。カジュアルなものを、手軽に購入できると、普段使いもしやすいかなと思います。</p>
<p>金沢の伝統文化は誇りを持てます。観光客も増えた事ですしPRをもっとして頂きたいです。</p>
<p>金沢の工芸は、作る体験ができる事が魅力です！</p>
<p>見て楽しむことはあっても良いものは高価なので、日常生活に取り入れるのは難しいと感じます。</p>
<p>九谷焼は伝統があるデザインのものもありますが新しいデザインもあり新鮮さを感じます。身近に毎日の食卓で使うようにしています。</p>
<p>今後制作する体験があったら参加したいです。孫が小学生の時金箔の体験に参加して羨ましくなりました。誰でも気軽に参加出来るようになったらうれしいです。</p>
<p>高価なものであまり縁がないとおもっている</p>
<p>敷居が高いイメージがあるので、もっと親しみ易いものもあると良い。</p>
<p>なじみが薄い 好きな人や関心がある人が少ない気がする。もっと多くの人に関心を持ってもらう企画が必要ではないでしょうか。市民が誰でも参加できる(家族でも)宝探しやスタンブラリー・クイズなどで豪華商品を出す。などどうでしょうか？</p>
<p>家庭で気軽に使う値段ではない。 飲食店やホテルで積極的に使ってもらったり観光客にお土産として購入してもらったり、小学校で体験教室を行ったらいいとおもう。</p>
<p>いろいろな価格帯のものがあるのかもしれないけれど、その情報は知らず、高いイメージがあります。 手を出しにくいイメージがあるので、もっと身近に感じられるようにアピールしてもらえるとありがたいです。</p>
<p>小学生が伝統工芸に触れる機会があると聞いています。中学生や大学生にもそのような機会があると良い。</p>
<p>もっともっとアピールして誰にでも買えるようにお手頃価格の方がいいと思う</p>
<p>伝統文化の一部であるとは思いますが、触れる機会もなく、よくわかりません。</p>
<p>正直、良さがわからない。もう少しわかりやすいピーアール活動をされてはどうか？</p>
<p>出身が金沢ではないと、工芸品についてはわからないことばかりでした。</p>
<p>九谷焼は手ごろなものもあり、普段使いできる素晴らしい工芸品だと思う。</p>
<p>工芸品は高価なものが多く、見るもので買って使うものではないと思っています。</p>
<p>過去に結婚祝いや新築祝い等で知り合いから頂いたことはあるが。加賀人形や獅子舞、九谷焼等ぐらいで、生活に根付いたものはないのかな。</p>
<p>昔からあるものは使うけれど(皿など)、改めて購入するには好みに一致するものや価格帯、使い勝手などの面から、機会は少ないように思います。</p>
<p>代々伝わり着た加賀友禅振袖(談義所栄二作)が国際交流サロンで展示され北國新聞に掲載されました。(えり花さんに寄付)</p>
<p>値段が高いのでなかなか手にすることができない。</p>
<p>金沢の工芸は歴史的な背景も有り伝統も培われている。今後は幅広い若手作家の育成と子供たちへの伝承が大きな課題と思う。技術的にも新しい技法を取り入れ進化していく必要もあると思う。</p>
<p>もう少し、値段を安くして欲しい。</p>
<p>金沢の工芸品について、よく分らないので他人にはすすめられない。</p>
<p>ろくろと茶碗を作る体験は工芸品の事を楽しく知ることが出来て良いと思いました。 水引も最近では、かわいいアクセサリーも売っていて、欲しいな?と思うのですが、私にはお高いです。もう少しリーズナブルになると嬉しいです。</p>
<p>加賀友禅と九谷焼以外は知名度が低いと思うので、もっとPRしていくと良いと思います。</p>
<p>私自身も学校時代に工芸に触れる機会がなかったので、あまり興味がわかない。もっと子供時代に触れて体験できる事が大事だと思う。</p>
<p>金沢の工芸品は金箔関連品以外は加賀地方や能登地方の人間国宝を輩出している工芸品の影に隠れてしまっているように感じます。もう少しPRが必要ではないでしょうか。</p>
<p>工芸品は高価で綺麗です、自分は使用ができません。</p>
<p>金沢の といわれると何があるのかいまいちぴんとこない。</p>
<p>高価なので若者には手を出しにくい</p>
<p>食器ならまだしもお茶着物はあまり接する機会はなく毛鉤など釣りに関係は欲しいが値段的にキツイです、購入にあたって助成金が出るなら買いたい</p>

<p>金沢の工芸品はお土産品から芸術性の高い美術工芸品等様々な用途・目的で選ぶことができます。これまでも、県外や海外の友人への贈り物としても喜ばれています。金沢人として誇らしいです。お土産ものだけでなく、普段使いできるものが増えていくといい。</p>
<p>かわいい柄や手に取りやすい価格の丸谷がフォーラスやエムザなどの立ち寄りやすい施設に置いてて見やすい。〇〇館とか、展示会みたいなどところだと敷居が高すぎて入れない。クラフト広坂も、何か買わないと出られなさそうだしふらっと地元民が訪れにくい。</p>
<p>機会と場所はあると思うので、もっと地元工芸に関わるようにしたいです。</p>
<p>日常生活において当たり前のように使う、あるいは身近に活用(装飾用、飾り、贈呈用など)するよう心がけることが市民としてなすべきかと考えています。そうすることによって金沢の工芸の真のすばらしさが実感でき、広く推奨普及することができると思います。</p>
<p>後継者不足が問題です。</p>
<p>後世に残していかななくてはいけないと思うが、現に日常使用することが今の時代には難しい。なので、店や職場等で使うようにできればよいのでは？</p>
<p>普段の生活の中でつかえるものという感覚がない。残念です。</p>
<p>興味もなく触れる機会もほぼないので、全く知らないと言ってもいいくらい。広めたいのであれば、子供中心に強制的にでも(校外学習など)触れ合う機会がないと難しいと思う。</p>
<p>工芸を人に贈るとしたら、高額で形式ばった贈り物になります。気軽に気の利いたものを開発していただけるのなら贈り物のリストとして考えると思います。</p>
<p>子供向けの体験もいいが大人向けもあってほしい</p>
<p>飲食店での丸谷焼の使用など、一般の人がよく目に入るような仕組みが望ましい。加賀友禅は、着て歩くだけでなくもっとアピールしては？</p>
<p>手軽に日常使用できて丈夫なものがあると嬉しいです</p>
<p>加賀繡や加賀漆器など、PR不足でその良さが世の中に伝わっていないと思う。</p>
<p>小学校の授業などで、幼い頃に工芸体験ができるような機会を増やしたらいいと思います。</p>
<p>金沢市民だと体験が割引してもらえたり、子どもが体験しやすくしてもらえるともっと身近に感じる事ができるかなあと思います！</p>
<p>盛んなのは理解、だが欲しいとは思わないです。転勤族のせいかも知れません。</p>
<p>金沢の工芸は素晴らしいものがたくさんあって大好きです。ただ「特別なもの」「高価なもの」というイメージが強く、普段使いができないイメージです。不況の今だからこそ「良いものは長く使える！」「毎日が特別感！」と打ち出してはいかでしょうか。</p>
<p>高価なものが多いので、普段使いには敷居が高いと思っています。</p>
<p>工芸は高級な美術品であってはならない、日常的に身近な存在であってほしい。</p>
<p>工芸品が、もっと身近に感じられるようになれば良いと思います。</p>
<p>小中学生の時に学年、クラス単位で見学や体験する機会があると良いと思います。市内中心部の児童生徒が金箔貼る体験するニュースなど見るといつも羨ましく感じています。郊外の学校も何かしら体験する機会があれば興味や理解が深まると思います。</p>
<p>去年の4月に引越し住民となりました。丸谷焼しか知らなく、街角のショーウィンドウで眺める程度です。</p>
<p>やはり、高いし普段使いが出来にくいので自分も使わず人にも勧められず、条件同じで贈り物にも出来ずです。やはり、敷居が高い</p>

アンケートにご協力いただきありがとうございます。今回いただいたご意見は、当制度の次年度以降の運営の参考とさせていただきます。